

[研究ノート]

ヘルン文庫調査

—中国への関心—

鄭 芝 嬢

はじめに

本稿は、富山大学附属図書館所蔵・ヘルン文庫目録に基づき、ラフカディオ・ハーンの蔵書から中国に関する書物リストを作成した。また、これらの書物に関する調査を行うことで、書誌情報や著者情報を補足しながら、ハーンの世界とどのような関連があるかを考察する。アメリカ時代のハーンの世界に入った書物を調査することで、東洋の一大国・中国に対してどのような関心を持っているのか、作品にどのような影響を与えたか、という疑問を解消することにつながる。

ハーンが中国に関心を抱くようになったのは、1877年、親友のクレービルと一緒に、中国人の音楽会に参加してからだと思われる。それからの10年間、1887年『中国怪談集』の出版に至るまで、ハーンは「中国の神話と崇拜」（『東洋論集』）、の「中国人の神信仰」（『東西文学評論』）など、何度も中国に関するテーマを新聞記事に取り上げた。クレービルとの手紙の中にも、しばしば中国のことを言及している。1884年に出版された、ハーン最初の作品集『飛花落葉集』には、主にインド仏教の物語が収録されているが、一つだけ、「玄奘」という中国の仏教物語がある。ハーンの伝記によると、『飛花落葉集』出版以降、ハーンは「一連の中国研究に没頭した」。本稿が扱う書物のほとんどは、この時期にハーンに集められたと思われる。

ヘルン文庫には、ハーン生前の蔵書の、洋書2,069冊、和漢書364冊が所蔵されている。洋書のうち1,350冊が英語、719冊がフランス語である。大正13年頃、小泉家により、富山大学の前身校・旧制富山高等学校に譲渡されたのである。近年、ヘルン文庫についての調査は積極的に行われ、和漢書・ドイツ文学関連書物・ロシア文学関連書物（武田 2019）などに関する先行研究はあったが、中国関連の洋書に関する先行研究はまだ行われていない。

そこで、本稿における書物リストの作成方針を以下に示す：

- ① 該当する書目は『ヘルン文庫目録』の2019年最新テキスト版での記載内容による。
- ② 全蔵書に通し番号として付された書架番号、著作者名、タイトル、出版社、出版年等を付す。
- ③ 書物のタイトルについては、筆者による日本語をつける。
- ④ 本稿の書物リストに取り上げるのは、1890年ハーン来日前に出版された洋書に限る。

1. 英語書物

1.1 英語書物リスト

[444]-[446] Longfellow, Henry W., ed.

Poems of places / edited by Henry W. Longfellow. [v. 21-23] - Boston: Houghton, Mifflin, 1878. - 3 v.; 16 cm. Contents: - v. 1: Asia: Syria. v. 2: Asia—Asia minor. Mesopotamia, Arabia, Turkestan. Afghanistan. v. 3: Asia—Persia India. Chinese Empire. Japan.

タイトル訳：『世界中の詩』

[866]-[867] Beal, Samuel.

Buddhist records of the Western world / translated from the Chinese of Hiuen Tsiang (A.D. 629) by Samuel Beal. Vol. 1-2. - Boston: J. R.

Osgood, 1885. - 2 vols.; 21 cm. - at head of title: Si-Yu-Ki

タイトル訳：『西方世界に関する仏教徒の記録／中国語の「玄奘」から訳した（大唐西域記）』

[868] Beal, Samuel.

Texts from the Buddhist Canon, commonly known as Dhammapada, with accompanying narratives / translated from the Chinese by Samuel Beal. Boston: Houghton, Osgood, 1878. - viii, 176 p.; 21 cm. - (The English & foreign philosophical library; v. 12)

タイトル訳：『一般に法句経として知られている仏教法典からのテキスト、説話物語付き／中国語からの翻訳（仏教経典選訳：法句経）』

[885] Hardy, R. Spence.

Eastern Monachism: an account of the origin, laws, discipline, sacred writings, mysterious rites, religious ceremonies, and present circumstances, of the order of mendicants, founded by Gotama Budha and a review of the Monastic system by R. Spence Hardy. - London: Williams and Norgate, 1860. - xi, 443 p.; 23 cm. 注：後ろ表紙裏に書き込みあり

タイトル訳：『東方修道院生活：ゴータマ・ブッダによって設立された僧侶の秩序の起源、法律、規律、神聖な書物、神秘的な儀式、宗教的儀式、および現在の状況の説明と、スペンスハーディによる修道院制度のレビュー』

[891] Legge, James.

The Sacred books of China: the text of confucianism / translated by James Legge. Part 1. - Oxford: Clarendon Press, 1879. - xxx, 492 p.; 23 cm. - (The Sacred book of the East / edited by F. Max Mueller; v. 3)

タイトル訳：『中国の聖書：儒教の典籍』（東方聖典叢書第3巻）

[893] Müller, F. Max.

The Dhammapāda: a collection of verses, being one of the canonical books of the Buddhists / translated from Pali by F. Max Müller. - Oxford: Clarendon Press, 1881. - lv, 224 p. ; 23 cm. - (The Sacred book of the East / edited by F. Max Müller; v. 10, pt. 1)

タイトル訳：『法句経：仏教徒の正規の本の1つである詩集』（東方聖典叢書第10巻）

[899] Dharmaraksha (A. D. 420)

The Fo-Sho-Hing-Tsan-King: a life of Buddha by Asavaghosha Bodhisattva / translated from Sanskrit into Chinese by Dharmaraksha and from Chinese into English by Samuel Beal. - Oxford: Clarendon Press, 1883. - xxxvii, 380 p. ; 23 cm. - (The Sacred books of the East / edited by F. Max Müller; v. 19)

タイトル訳：『仏所行賛経：ゴータマの生涯』（東方聖典叢書第19巻）

[908] Legge, James.

The Sacred books of China: the texts of Taoism / translated by James Legge. Part 1. - Oxford: Clarendon Press, 1891. - xxii, 396 p. ; 23 cm. - (The Sacred books of the East / edited by F. Max Müller; v. 39)

タイトル訳：『中国の聖書：道教の典籍』（東方聖典叢書第39巻）

[922] Anderson, William.

Descriptive and historical catalogue of a collection of Japanese and Chinese paintings in the British Museum / by William Anderson. - London: Longmans, 1886. - xvi, 554 p. ; 27 cm.

タイトル訳：『大英博物館所蔵日本と中国の絵画コレクションに関する記述と歴史カタログ』

[990] Henry G. Bohn

China: pictorial, descriptive, and historical, with some account of Ava and the Burmese, Siam, and Anam, with nearly one hundred

illustrations. - London: Henry G. Bohn, 1853. - xx, 521 p.; 19 cm. -
(Bohn's illustrated library)

タイトル訳：『中国：絵画、記録、歴史に関する説明、100枚近くのイラスト付き』

[991] Douglas, Robert Kennaway.

The life of Jenghiz Khan / translated from the Chinese, with an introduction by Robert Kennaway Douglas. - London: Trübner, 1877. - xxxvi, 105 p.; 20 cm.

タイトル訳：『成吉思汗の人生／中国語から翻訳』

[992] Eitel, Ernest J.

Feng-shui, or, The rudiments of natural science in China / by Ernest J. Eitel. - Hongkong: Lane, Crawford, 1873. - 84 P.; 24 cm.

タイトル訳：『風水、中国自然科学の基礎』

[993]-[994] Giles, Herbert A.

Strange stories from a Chinese studio / translated and annotated by Herbert A. Giles. Vol. 1-2. - London: Thos. de la Rue, 1880. - 2 vs.; 20 cm

注：“N. O. 1885”

タイトル訳：『聊齋志異』

* [996] Neumann, Charles Fried.

History of the pirates: who infested the China sea, from 1807 to 1810 / translated from the Chinese original with notes and illustrations by Charles Fried Neumann. - London: printed for the Oriental Translation Fund, 1831. - xlvii, 110 p.; 23 cm.

タイトル訳：『海賊の歴史：1807年から1810年にかけて中国海に侵入した海賊』

[998] Williams, S. Wells.

The middle Kingdom = 中国総論 : a survey of the geography, government, literature, social life, arts, and history of the Chinese Empire and its inhabitants / by S. Wells Williams. - Revised edition, with illustrations and a new map of the empire. Vol. 2. - New York: Charles Scribner's, 1883. xii, 775 p.; 24 cm.

タイトル訳：『中国総論』

1.2 英語書物考察

英語の中国関連書物は以上の15冊である。構成から見ると、思想と宗教7冊（仏経5冊、儒教1冊、道教1冊）、事典とカタログ3冊、文学2冊、歴史1冊、伝記1冊、科学1冊となる。当時のアメリカとイギリスの東洋学碩学の、中国の典籍の翻訳と研究成果ばかり集められている。

アメリカ人の Williams, S. Wells (サミュエル・ウェルズ・ウィリアムズ、中国名：衛三畏、1812-1884) は、伝教師・外交官・東洋学者であり、アメリカ漢学の第一人とも呼ばれている人物である。その著作『中国総論』は、アメリカにおける中国研究の最初の百科事典であり、中国の歴史・地理から中国人の思想・生活習慣まで、あらゆる面について全面的に研究し、英語で欧米の人々に紹介したものである。ハーンは度々新聞記事「中国人の神信仰」、「中国からの考古的なニュース」の中や著作の注釈にウィリアムズの名をあげた。『中国怪談集』の用語集にも、「Kin (箏)」「Li (里)」などの用語の意味は『中国総論』からの引用であると記されている。

一方、ハーンに大きな影響を与えたとされるイギリスの東洋学碩学は以下の4名である：

- Müller, F. Max. (マックス・ミュラー、1823年-1900年)、ドイツ生まれ、イギリスに帰化した東洋学者で、宗教学者である。書架番号[893]の『法句経』の訳者であり、『東方聖典叢書』シリーズの編集者である。ハーンは「最近の仏教文献」p 240などの記事の中で、ミュラーの最新の記事

を引用するほど注目している。

『東方聖典叢書 (*Sacred Books of the East*)』とは、マックス・ミュラーによって編集され、オックスフォード大学出版局によって1879年から1910年にかけて刊行された、アジアの諸宗教の聖典の英語翻訳を集成した全50巻の叢書である。ハーンはそのうち21巻（第1、3、5、10、11、13、15～17、19～22、25、27、28、35、36、39、40、49巻）を所蔵している。

・Legge, James. (ジェームズ・レグ、中国名：理雅各、1815-1897)、ロンドン伝道協会の宣教師で、中国学者である。四書五経をはじめとする儒教や道教の古典を早い時期に英訳した。書架番号[891]『儒教の典籍』の内容は、『書経』、『詩経の中の宗教』、『孝経』の翻訳である。書架番号[908]『道教の典籍』の内容は、老子の紹介及び『道德経』『荘子』の翻訳である。

・Herbert Allen Giles (ハーバート・アレン・ジャイルズ、中国名：翟理斯、1845年-1935年)、イギリスの外交官で、中国学者である。『華英辞書』の編纂によって特に知られている。『聊齋志異』の164篇を訳し、今になっても最も完全な『聊齋』英訳本である。ハーンは『中国怪談集』の「織女の伝説」解題で、ハーバートの『聊齋志異』を言及した

「この話のなかに、幽霊、医方、婚礼などを詳述した個所が出てくるが、これはわたくしが自分の想像で書いたものではないことを証するために、ジャイルズ氏の著わした『聊齋志異』のなかの“*A Supernatural Wife*”（原題「褚遂良」）と題する一篇を読んでいただければ、この話が中国思想に乖離していないことがわかっていただけるだろう」。

・Beal, Samuel (1825-1889) ロンドンの宣教師で、東洋学者である。主に東洋の仏教について翻訳研究を行っていた。惜しくも他の学者ほど名が残っていないが、ハーンは彼が編訳した仏教に関する書物3冊を所蔵している。そのうち、書架番号[866]の『大唐西域記』はハーンの記事「最近の仏教文献」p 242で紹介され、「読んでみるのは面白いことだ」と評価

された。

以上から、来日前のハーンは、中国に関する最先端の研究成果を熱心に集める一方、学者たちから発信する最新の情報を常に注目していることが分かる。『法句経』の英訳版を何冊も所蔵し、インド仏教にすでに詳しいハーンは、書架番号[899]の『仏所行賛経』のような梵語から中国語、さらに中国語から英語に訳した書物を読むことで、仏教が中国に伝来した過程を学ぼうとしている。これらの中国思想に関する書物の影響の下で、ハーンはだんだん中国人の思想に馴染んでいき、記事に書いた。「中国の信仰と崇拜」では儒教・道教・仏教を「中国の三大宗教」とし、四書五経の詳細な紹介が見えるのである。

2. フランス語書物

2.1 フランス語書物リスト

[1759] Julien, M. Stanislas.

Contes et apologues indiens : inconnus jusqu'à ce jour, suivis de fables et de poésies chinoises / traduction de M. Stanislas Julien. Tome 1. - Paris: Hachette, 1860. - 216 p. ; 17 cm.

タイトル訳：『知られざるインドの謝罪物語、中国の寓話と詩付き 第1巻』

[1760] Julien, M. Stanislas.

Les Avadânas contes et apologues indiens : inconnus jusqu'à ce jour suivis de fables, de poésies et de nouvelles chinoises / traduits par M. Stanislas Julien. Tome 2. - Paris: Maisonneuve, 1859. - 272 p. ; 17 cm.

タイトル訳：『知られざるインドの謝罪物語、中国の寓話と詩付き 第2巻』

[1793] Pavie, Théodore.

Choix de contes et nouvelles : traduits du chinois / par Théodore Pavie.

Paris : Benjamin Duprat, 1839. - 298 p. ; 23 cm.

タイトル訳：『短編小説選集：中国語からの翻訳』

[1913] Garnier, Francis.

Voyage d'exploration en Indo-Chine / Francis Garnier. - Paris : Hachette, 1885. - 662 p. ; 29 cm.

タイトル訳：『インド-シナへの探検の旅』

[1916] Vinson, Julien.

L'Inde française et les études indiennes: de 1882 a 1884 / par Julien Vinson. - Paris : Maisonneuve Frères, 1885. - 78 p. ; 22 cm.

合綴：Rosny, Léon de. - *L'épouse d'outre-tombe: conte chinois* / par Léon de Rosny. 15 p.

タイトル訳：「フランスインドの研究：1882年から1884年」

「墓の向こうからの花嫁：中国の物語」Rosny, Léonde.-

* [1928]-[1929]

Chefs-d'oeuvre littéraires de l'Inde, de la Perse, de l'Égypte et de la Chine. Tome I-II. - Paris : Maisonneuve, 1872. - 2 vs. ; 28 cm. - (Bibliothèque Orientale; tome 1-2)

Contents: - Tome I: *Rig-Véda, ou, Livre des hymnes* / par A. Langlois.

Contents: - Tome II: *Chi-King, ou, Livre des vers* / par G. Pauthier.

タイトル訳：『インド、ペルシャ、エジプト、中国からの文学傑作（東方全書第1-2巻）

第一巻 賛美歌の書

第二巻 詩経』

* [1972] Arène, Jules.

La Chine familière / Jules Arène. 2e édition. - Paris : G. Charpentier, 1883. - 288 p. ; 19 cm.

タイトル訳：『おなじみの中国』

[1995] D'Hervey-Saint-Denys, Le Marquis.

Trois nouvelles chinoises / traduites pour la première fois par Le Marquis D'Hervey-Saint-Denys. - Paris: Ernest Leroux, 1879. - 137 p.; 17 cm. - (Bibliothèque Orientale Elzévirienne: 45)

タイトル訳: 『3つの中国短編小説／Le Marquisによる初訳』(東方全書第45巻)

* [1996] Hû, Fernand.

Le Dhammapada / avec introduction et notes par Fernand Hû; La Sutra: 42 articles / traduit du tibétain, avec introduction et notes par Léon Feer. - Paris: Ernest Leroux, 1878. - 1 v.; 17 cm. - (Bibliothèque Orientale Elzévirienne: 21)

タイトル訳: 『法句経』(東方全書第21巻)

* [1997] Imbault-Huart, C.

La poésie chinoise: du XIVe au XIXe siècle, extraits des poètes chinois / traduits pour la première fois et de notices biographiques par C. Imbault-Huart. - Paris: Ernest Leroux, 1886. - xxxiii, 93 p.; 17 cm. - (Bibliothèque Orientale Elzévirienne: 46)

タイトル訳: 『中国詩選集: 14世紀から19世紀までの中国詩』(東方全書第46巻)

* [1998] Jametel, Maurice.

L'encre de Chine, son histoire et sa fabrication, d'après des documents chinois / traduits par Maurice Jametel. - Paris: Ernest Leroux, 1886. - xxxiii, 93 p.; 17 cm. - (Bibliothèque Orientale Elzévirienne: 32)

タイトル訳: 『中国の墨、その歴史と製造方法』(東方全書第32巻)

* [2008] Rosny, Léon de.

Les peuples orientaux: connus des anciens chinois / par Léon de Rosny. 2e édition, revue et augmentée. - Paris: Ernest Leroux, 1883. - xii, 287

p. ; 17 cm. - (Bibliothèque Orientale Elzévirienne; 49)

タイトル訳：『東洋の人々：古代中国人が知る』（東方全書第49巻）

* [2011] Scherzer, F.

La puissance paternelle en Chine: étude de droit chinois / par F. Scherzer. - Paris: Ernest Leroux, 1878. - 80 p. ; 17 cm. - (Bibliothèque Orientale Elzévirienne; 23)

タイトル訳：『中国の父権：中国法律研究』（東方全書第23巻）

* [2016] Thiersant, P. Dabry de.

La piété filiale en Chine / par P. Dabry de Thiersant. - Paris: Ernest Leroux, 1877. - 223 p. ; 17 cm. - (Bibliothèque Orientale Elzévirienne; 16)

タイトル訳：『中國の孝道』（東方全書第16巻）

* [2021] Imbault-Huart, Camille.

Les instructions familiales du Dr. Tchou Pô-Lou / traité de morale pratique publié pour la première fois avec deux traductions françaises par Camille Imbault-Huart. - Peking: Péi-Tang, 1881. - 133 p. ; 23 cm.
注：書名の上に“朱柏盧家訓”

タイトル訳：『朱柏盧家訓』

* [2022] Julien, Stanislas.

Le livre des récompenses et des peines, en chinois et en français: de quatre cents légendes, anecdotes et histoires... / traduit du chinois par Stanislas Julien. - Paris: printed for the Oriental Translation Fund, 1835. xvi, 531 p. ; 22 cm. 注：後扉に書き込み多数あり

タイトル訳：『賞と罰の書：400の伝説、逸話と物語（太上感応篇）』

* [2023] Julien, Stanislas.

Histoire et fabrication de la porcelaine chinoise / ouvrage traduit du

chinois par M. Stanislas Julien; accompagné de notes et d'additions par Alphonse Salvétat, et augmentée. d'un Mémoire sur la porcelaine du Japon, traduit du japonais par J. Hoffmann. - Paris: Mallet-Bachelier, 1856. - 320 p.; 25 cm.

タイトル訳：『中国磁器の歴史と製造（景德鎮陶録）／ジュリアン氏が中国語から訳した作品；Alphonse によるメモを追加。J. ホフマンによる日本語から訳した日本磁器に関するメモワールから』

*[2024] 老子

Le livre de la voie et de la vertu = 老子道德経 / par le philosophe Lao-Tseu; traduit en français par Stanislas Julien. - Paris: Imprimerie Royale, 1842. - xlv, 294 p.; 24 cm.

タイトル訳：『老子道德経（ジュリアン訳）』

*[2028] Rosny, Léon de.

Anthologie japonaise: poésies anciennes et modernes / traduites en français et publiées avec le texte original par Léon de Rosny. - Paris: Maisonneuve, 1871. - xxxii, 222, 72 p.; 23 cm. 注：巻末に万葉集、百人一首等の行書の短歌あり

タイトル訳：『日本詩集：古今詩詞（詩歌撰葉）』

*[2031] Schlegel, Gustave.

Le vendeur-d'huile qui seul possède la reine-de-beauté, ou, splendeurs et misères des courtisanes chinoises, roman chinois / traduit pour la première fois sur le texte original par Gustave Schlegel. - Paris: Maisonneuve, 1877. - 140, 79 p.; 20 cm. 注：書名の上に“賣油郎濁占花魁”とあり

タイトル訳：『賣油郎濁占花魁：中国小説』今古奇観からの訳

*[2036] Walter, Judith.

Le livre de Jada / par Judith Walter. - Paris: Alphonse Lemerre, 1867. -

171 p.; 18 cm.

注：書名の上に“白玉詩書”とあり

タイトル訳：『白玉詩書』

* [2038] Adam, Lucien.

Du parler des hommes et du parler des femmes : dans la langue caraïbe /
par Lucien Adam; 龍図公案 = Un mari sous cloche: conte chinois /
traduit sur le texte original par Léon de Rosny. - Paris: Maisonneuve,
1874-79. - 32, 16 p.; 22 cm. 注：二つの論文の合綴
タイトル訳：「龍図公案=鐘の下の夫：中国の物語」

2.2 フランス語書物考察

フランス語の中国関連書物は以上の22冊である。構成から見ると、文学12冊、思想と宗教3冊、人文・社会・その他7冊となる。当時のフランス東洋学碩学たちの、れっきとした翻訳と研究成果ばかりである。この中の多くは、『中国怪談集』執筆にあたりハーン自身が参考にした書物である。ハーンが解題部分に上げたほかに、用語集で挙げた書物もある。本節では、作家別でフランスの中国学碩学と彼らの著作を紹介しながら、『中国怪談集』との関連を考察する。

まず、イギリスには『東方聖典叢書 (Sacred Books of the East)』があるように、フランスにも『東方全書 (Bibliothèque orientale)』というシリーズがある。1875年からSaint-Joseph 大学により編纂され、合計90冊である。ハーンはそのうち45冊（1～6、10～14、16～25、27～36、38～41、43、45～49、巻号不明5冊）を所蔵している。

加えて、当時フランスにおける最も権威がある学術機関、コレージュ・ド・フランスについても言及する必要があるだろう。コレージュ・ド・フランス（仏蘭西学院、Collège de France）とは、フランス共和国における学問・教育の頂点に位置する国立の特別高等教育機関であり、1814年にコレージュ・ド・フランスにはじめて中国の言語・文学の講座が設けられ、

初代教授は Jean-Pierre Abel-Rémusat（アベル・レミュザ、中国名：雷慕沙、1788-1832）である。一流な東洋学者輩出の地である。

・Julien, Stanislas. (スタニスラス・ジュリアン、中国名：儒蓮、1797-1873) は、フランスの東洋学者である。レミュザの弟子として中国語を学び、1832レミュザ没後、ジュリアンはその後を継いでコレージュ・ド・フランスの中国学教授に就任した。主に四書五経に関する翻訳研究を行っている。ハーンは、ジュリアンによる中国関連書物を4冊所蔵している。その中、書架番号[2022]の『賞と罰の書：400の伝説、逸話と物語』とは、老子の『太上感應篇』の翻訳であり、ハーン『中国怪談集』の「織女の伝説」と「顔真卿の帰還」の原典「福祿随之」と「神倦可冀」が載せられている。ハーンは『中国怪談集』解題においてこのように記した：

「織女の伝説」——この話は、老子の書いた「感應篇」の第三十四章から採った伝説である。「感應篇」には、かれこれ四百に近い逸話と珍しい伝説が載っている。

「顔真卿の帰還」——「感應篇」には非常に簡勤に述べてある。

「また、書架番号[1759][1760]『知られざるインドの謝罪物語、中国の寓話と物語付き』第1巻と第2巻には、ジュリアンが訳した14の寓話と、6つの物語がある。木蘭辞、詩人杜甫の話、三国志から取った董卓の死などがある。

・Rosny Léon-de (レオン・ド・ロニー、1837-1914) は、フランスの民俗学、言語学、東洋学者。中国文学と日本文学の翻訳研究を行っている。書架番号[2038]の「龍図公案=鐘の下の方：中国の物語」とは、中国宋の時代の判官包拯による裁判小説集『龍図公案』第2回「観音菩薩托夢」の訳である。この翻訳稿のタイトルには、図のような漢字「龍図公案」が飾られており、その字体は、『中国怪談集』のタイトルページに飾られている「龍図公案」4文字と一致している。『中国怪談集』の1番目の物語「大鐘の霊」と同じく、大きな鐘が物語に出ているから、ハーンはこの4

文字を使ったと推測できる。また、書架番号[1916]の「墓の向こうからの花嫁：中国の物語」は、『龍図公案』第1回「阿弥陀仏講和」の訳である。そのほか、書架番号[1759]の『日本詩集：古今詩詞（詩歌撰葉）』は日本の詩集だが、中国の詩と日本の詩を比較する記事「日本詩瞥見」に扱われる。

• Schlegel Gustave（グスタフ・シュレーゲル、中国奈名：施萊格、1840-1903）は、オランダの東洋学者、博物学者である。書架番号[2031]の『賣油郎濁占花魁：中国小説』は、ハーン『中国怪談集』の「孟沂のはなし」の原典となる。ハーン解説によると、

「孟沂のはなし」は「今古奇観」という中国の有名な小説集の第三十四話の怪異譚に拠ったもので、フランスの碩学グスタフ・シュレーゲルが“La Bacheliere du Payde Chu”という題で、はじめて仏訳し、同じ書の第七話「売油郎独占花魁」という変った淫猥な物語の翻訳を刊行するとき、その首篇として収めたものである。

• Imbault-Huart, C.（中国名：于雅樂1857-1897）駐中国広州・上海・北京のフランス領事館の外交官であり、翻訳家である。書架番号[1997]の『中国詩選集：14世紀から19世紀までの中国詩』には、刘伯温、楊基、袁枚、乾隆皇帝、曾國藩など近代中心の詩21首が収録されている。

• Le Marquis d'Hervey de Saint Denys（中国名：德理文、1822-1892）、フランス漢学家である。中国唐の時代の『唐詩』を初めてフランス語に訳した人物として知られている。ハーン蔵書において、書架番号[1995]の『3つの中国短編小説』は、Rosny Léon-de、Schlegel Gustave の訳を加えると、3つ目の『今古奇観』翻訳作品集である。

他にも興味深い書物が多数ある。それらに関する考察を以下に並べる。

• 書架番号[1759]『中国の墨、その歴史と製造方法』。『中国怪談集』の用語集には、「Hei-song-che-tchoo（黒松使者）」という項目に、唐の時代中国の墨製造にあたる墨の精霊・黒松使者の伝説を、この書物から訳し、引用した。

・書架番号[1759]『白玉詩書』。著者ジュディット・ゴーチェとは、フランスの女詩人である。中国師匠丁氏の指導の元で、中国の詩を翻訳し、出版した。自由爛漫な文筆が特徴で、中国語原文に忠実に翻訳せず、一種の再創作だと言われる。『詩経』から近代まで詩を選択し、7つのテーマ——恋、月、秋、旅人、戦争、酒と詩人——に分けて翻訳している。その中の「春江花月夜」の翻訳は特に有名である。

・書架番号[1759]『インド-シナへの探検の旅』。インドシナ半島とは、(現在のベトナムの位置)、メコン川(湄公河)流域のことである。著者のGarnierは、1866年、新たに結成された遠征隊の副隊長に任命され、フランス海軍のトラッグ大佐が率いる探検チームとともに、インドシナ半島を探索し、中国との貿易の可能性を調査した。四川省、浙江省、江蘇省を経て、上海に辿りついた。『インド-シナへの探検の旅』とはこの旅の紀行文学である。

以上から、フランスの東洋学者たちは、翻訳研究を行うとき、重点的に中国の文学と思想に着目したことが分かる。『今古奇観』『百孝図説』『龍図公案』などの短編説話集と詩集の翻訳が活発である。ハーンは、道教や儒教の典籍など、正統なる思想以外にも、中国民間の俗話に興味を示した。中国にかかわる記事や再話文学を書く際は、英語の書物よりフランスの書物を多く参照している。「中国怪談集」「中国の神話と崇拜」漢字のアルファベット表記はすべてフランス語の書物から取ったことが分かる。

おわりに

本稿は、ハーン蔵書の中に中国と関わる洋書37冊のリストを作り上げ、それら英語15冊、フランス語22冊の洋書について調査を行った。来日前、ジャーナリストとしてのハーンがどのような書物に関心を抱いていたか、それらがハーンにどう影響したのかを明らかにした。

当時の欧米人と同じく、ハーンが認識した東洋・オリエンタルには、エジプト・アラビア・トルキスタン・中国・日本・韓国など、幅広い地域が

含まれていた。そんな中、時にインドと混同して書かれるが、中国に関する書物の比重は、明らかに大きい。中国の宗教、歴史、文学、中国人の思想と品質など、幅広い分野で、当時一流の東洋学者の研究成果を追い、中国について全面的に学ぼうとするハーンの姿勢が窺える。アメリカにはウェリアムズの『中国総論』があり、イギリスには、ロンドン教会の宣教師たちとハーバード大学により編纂した『東洋聖典』があり、フランスには仏蘭西学院の学者たち『東方全書』がある。これら碩学たちの薫陶を受けつつ、ハーンは日に日に自分の審美眼を磨いた。蔵書の傾向から見えるように、ハーンが特に関心を持ったのは、中国の優美な詩歌と、神秘的な信仰・神話である。それがのちに、日本の俳句と神道への興味につながり、最終的にハーンは日本の土地に踏み入った。来日前に書かれた記事「腑に落ちない日本人評価」と「日本詩瞥見」からも、中国と日本は、いつも比較の対象としてハーンに注目されていることが分かる。ハーンの日本に対する理解をより深く研究するには、中国に対する関心と理解を解明することが必要である。

また、本稿における中国関連書物リストは、ハーンが書いた中国にかかわる記事や物語の原典となる書物を見つけ出す時の手がかりになるであろう。

参考文献

- 富山大学附属図書館所蔵ヘルン（小泉八雲）（ラフカディオ・ハーン）文庫目録（2019）：テキスト版【最新版】
- 今村郁夫（2010.12）「ヘルン文庫の和漢書：蔵書傾向と書き込み調査」『富大比較文学3集』p 1-19
- 中島淑恵（2017.08）「ラフカディオ・ハーンのニューオリンズ時代における日本との出会い：「日本の詩瞥見」をめぐって」『富山大学人文学部紀要67号』p 153-167
- 山本孝一（2018.03）「ラフカディオ・ハーンとドイツ文学」『ヘルン研究第1号』p 102-108
- 武田昭文（2019.03）「ヘルン文庫ロシア文学関連書籍調査報告」『ヘルン研究第4号』p 85-102
- 小泉八雲著；平井呈一訳（1986）『中国怪談集他』恒文社
- ラフカディオ・ハーン著；森亮他訳（1981）『ラフカディオ・ハーン著作集第3巻・ア

ヘルン文庫調査

メリカ論説集その他（東洋論集）』恒文社

ラフカディオ・ハーン著；斎藤正二他訳（1988）『ラフカディオ・ハーン著作集第5
巻・東西文学評論その他』恒文社

E・L・ティンカー著；木村勝造訳（2004）『ラフカディオ・ハーンのアメロカ時代』ミ
ネルヴァ書房

菊池章太（2007）『フランス東洋学ことはじめ——ボスフォラスのかなたへ——』研文
出版

Some Chinese ghosts, by Lafcadio Hearn, Roberts Brothers, 1887.

Oriental articles, by Lafcadio Hearn; edited by Ichiro Nishizaki, Hokuseido, 1950

Essays in European and Oriental Literature, by Lafcadio Hearn, New York, 1923